

## 『函館緩和ケアセミナー』開催のお知らせ

時下、先生方におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てにあずかり、厚く御礼申し上げます。

さて、道南地区の緩和ケアについて共に考える場として「函館緩和ケアセミナー」を下記の要領で開催することになりました。ご多忙とは存じますが、ぜひご出席賜りますようご案内申し上げます。

### 記

- 日時：2024年9月20日（金）18時00分～19時40分
- 会場：ベルクラシック函館  
住所：北海道函館市梁川町4番11号 電話：0138-55-1200
- プログラム

- ・一般講演（18:10～18:30）

### 『 当院におけるオピオイド誘発性便秘症への対応 』

函館五稜郭病院 薬剤科 主任 中村 俊之 先生

- ・特別講演（18:30～19:40）

座長： 函館五稜郭病院 緩和ケア科 科長 西本 武史 先生

### 『 がん患者の心のケア：医療の質を改善する第一歩 』

東京慈恵会医科大学 教授 内富 庸介 先生

- ・Closing Remarks 矢和田 敦 先生 函館五稜郭病院 副院長

\*当日、会場で飲み物（お茶）をご準備しております。各施設の規則をご確認の上、ご対応をお願い致します。

恐れ入りますが、医薬関係者※以外の参加はご遠慮いただいています  
※医薬関係者「主として医師、歯科医師、薬剤師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床心理士等の医療専門家（医学部・薬学部等の学生を含む）、及び医療施設において医療に従事する職員」



内富先生（左）と西本

## 講師の紹介

内富庸介先生は、本邦サイコオンコロジー(精神腫瘍学)の第一人者。91年がん分野で米国最高峰とされるメモリアル・スローン・ケタリングがんセンターでがん患者の精神的ケアについて学び、日本国内での精神腫瘍学の確立を決意する。95年国内初である国立がんセンター精神腫瘍学研究部の創設に携わった。がん告知後に生じる気持ちのつらさのケア，うつ病の病態研究に取り組む傍ら，がん患者の意向調査に基づいた「がん医療におけるコミュニケーションスキルトレーニング」を開発した。がん患者の自殺対策にも力を注いでいる。

## 講師プロフィール

1984年3月 広島大学医学部卒業  
1991年3-5月 厚生省HIV留学制度により米国スロンケタリングがんセンター記念病院精神科研修  
1994年12月 広島大学医学部神経精神医学教室講師  
1995年9月 国立がんセンター研究所支所精神腫瘍学研究部室長  
2005年10月 国立がんセンター東病院臨床開発センター精神腫瘍学開発部長  
2010年4月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学教室教授  
2015年1月 国立がん研究センター中央病院精神科神経科 支持療法開発センター長  
2023年4月 - 2024年3月 国立がん研究センターがん対策研究所 サバイバーシップ研究部長  
2024年4月 現在東京慈恵会医科大学，がんサバイバーシップ・デジタル医療学講座，教授

## 所属学会

日本サイコオンコロジー学会： 代表理事(2009-2009)，代表世話人(2005-2009)，常任世話人(1996-2009)，理事(2010-)。International Psycho-Oncology Society： 2nd Vice President (2003-2005) Board of Directors (1998-2006)。日本総合病院精神医学会：評議員 (1993-)，理事(2006-2012)。日本緩和医療学会：理事 (1996-2004，2012-)，評議員(2004-)。日本癌治療学会：評議員 (2001-)，用語委員(2003-)。日本癌学会：評議員(2004-2009)。日本臨床腫瘍学会：学術企画委員(2005-)。日本学術会議連携会員(2006-2014)。日本医師国家試験委員(2001-2003)。

## 主な著書

『緩和医療における精神医学ハンドブック』(2001年 星和書店)  
『自分らしくがんと向き合う』(2003年ネコ・パブリッシング)  
『がん医療におけるコミュニケーションスキル』(2007年 医学書院)  
『緩和ケアチームのための精神腫瘍学入門』(2009年 医薬ジャーナル社)

## 函館緩和ケアセミナーの参加申込



■会場設営の都合上、9月13日（金）を締切りとさせていただきます。  
ご参加申込は「Web 申込」にてお願い申し上げます。

1、下記 URL または QR コードから参加申込をお願い申し上げます。

<https://forms.office.com/r/1sACDLXEwr>

